

'92年度 第1回 追加更正 教育費 特別會計 豫算(案)

# 審 査 報 告

1992. 6. 24.

豫 算 決 算 特 別 委 員 會

## 目 次

I. 回 附 案 件 -----	2
II. 審 查 經 過 -----	2
III. 豫算案 概要 說明 要旨 -----	3
1. 豫算 編成 方向 -----	3
2. 豫算 編成 財源 -----	3
3. 豫算案 規模 -----	4
IV. 專門委員 檢討 報告 要旨 -----	6
V. 質疑 吳 答辯 要旨 -----	9
VI. 討 論 要 旨 -----	9
VII. 審 查 結 果 -----	9
VIII. 修正案 要旨 -----	9
IX. 少數 意見 要旨 -----	9
※ 別添, 豫算案 修正(案) -----	10

’92年度 第1回 追加更正 教育費 特別會計 豫算案

## 審 查 報 告 書

1992年 6月 24日

豫算決算特別委員會

### I. 回 附 案 件

’92年度 第1回 追加 更正 教育費 特別會計 豫算案

(修正 發意分 포함)

### II. 審 查 經 過

가. 提案日字 및 提案者 : 1992年 5月 8日  
大田直轄市 教育監

나. 回 附 日 字 : 1992 年 5 月 13 日

다. 上 程 日 字 : 第 11回 大田直轄市 議會 (臨時會)

- 1992. 6. 19. 第1次 豫算決算特別委員會 構成(9人)  
上程, 質疑, 審查
- 1992. 6. 20. 第2次 豫算決算特別委員會小委員會構成  
(6人) 審議
- 1992. 6. 23. 豫算決算特別委員會 小委員會 計數調整  
上程, 審議, 議決

### Ⅲ. 豫算案 概要 說明 要旨

(提案說明者：管理局長 조영희)

#### 1. 豫算 編成 方向

##### < 基本方向 >

- 健全財政 維持
- 教育 政策의 持續的 推進
- 公・私立學校 均衡 發展
- 直接教育費 優先 投資
- 主要 懸案 事業의 積極的 推進

##### < 豫算 編成 細部方針 >

- 公務員 定員에 의한 人件費 不足豫算 確保
- 學生收容計劃에 의한 學校新設 等 教育與件 改善事業 投資
- 廳舍新築 및 學生教育院 新設 不足豫算 確保
- 重點施策 事業費 不足豫算 確保
- 國庫補助事業 計上
- 行政經費 및 教育再事業費 不足豫算 確保

#### 2. 豫算 編成 財源

’92年度 本 豫算 成立後 教育部로부터 中央 政府 豫算 確定에 따른 보통 交付金 增額 交付, 國・中學校 新設을 위한 特別交付金 追加 交付, 學生 教育院과 教員 研修院 新設을 위한 國庫補助金과 特別交付金의 追加 交付, ’91年度 會計 決算 純歲計剩餘金의 追加收入 等 새로운 財源이 確保됨.

## 3. '92年度 第1回 追加更正 教育費 特別會計 豫算案 規模

## 1. 歲 入

○ 性質別 歲入規模 및 增減內譯

(單位：千圓)

區 分		追更(修正)豫算案		既定豫算額		增 △ 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	%
計		(18,233,488) 292,727,381	100	210,554,204	100	(18,233,488) 82,173,177	39.0
依 存 收 入	小 計	(5,445,488) 227,474,761	77.7	169,971,735	80.8	(5,445,488) 57,503,026	33.8
	地方教育財政 交付金	(5,445,488) 170,340,991	58.2	114,075,573	54.2	(5,445,488) 56,265,418	49.3
	地方教育讓與金	43,277,000	14.8	43,276,000	21.6	1,000	-
	國庫補助金	1,291,677	0.4	248,069	0.1	1,043,608	420.7
	轉 入 金	12,565,093	4.3	12,372,093	5.9	193,000	1.6
自 體 收 入	小 計	52,464,620	17.9	40,582,469	19.2	11,882,151	29.3
	財 產 收 入	22,223,244	7.6	12,065,296	5.7	10,157,948	84.2
	使用料및手數料	20,365,247	7.0	20,253,905	9.6	111,342	0.5
	移 越 金	8,835,714	3.0	7,262,333	3.5	1,573,381	21.7
	雜收入其他	1,040,415	0.3	1,000,935	0.4	39,480	3.9
地 方 教 育 債		(12,788,000) 12,788,000	4.4	0		(12,788,000) 12,788,000	

※ ( )내서는 修正 發意에 대한 增額分임.

## 2. 歲 出

○ 性質別 歲出規模 및 增減內譯

區 分	追更(修正)豫算案		既定豫算額		增 △ 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	%
計	(18,233,488) 292,727,381	100	210,554,204	100	(18,233,488) 82,173,177	39.0
基本的經費	141,872,945	48.5	136,251,473	64.6	5,621,472	4.1
· 人件費	139,179,660	47.5	134,193,129	63.7	4,986,531	3.7
· 官署運營費	2,693,285	1.0	2,058,344	0.9	634,941	30.8
事業費	(17,881,787) 112,670,362	38.5	40,470,167	19.3	(17,881,787) 72,200,195	178.4
· 經常事業費	8,337,906	2.9	7,875,339	3.8	462,567	5.9
· 主要事業費 (시설비, 환독)	(17,881,787) 104,332,456	35.6	32,594,828	15.5	(17,881,787) 71,737,628	220.1
學校運營費	(86,500) 13,183,685	4.5	11,211,556	5.4	(86,500) 1,972,129	17.6
私學支援金	(265,201) 22,794,038	7.8	20,438,126	9.7	(265,201) 2,355,912	11.5
豫備費其他	2,206,351	0.7	2,182,882	1.0	23,469	1.1

※ ( ) 내서는 修正 發議에 대한 增加分임.

## ○ 所管別 歳出 規模 및 増減内譯

區 分	追更(修正)豫算案		既定 豫 算 額		増 △ 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	%
計	(18,233,488) 292,727,381	100	210,554,204	100	(18,233,488) 82,173,177	39.0
本 廳	(109,661) 80,464,780	27.5	65,835,464	31.3	(109,661) 14,629,316	22.2
東 部 教 育 廳	(177,571) 87,496,047	30.0	71,826,624	34.1	(109,571) 15,669,423	21.8
西 部 教 育 廳	(17,946,256) 122,560,209	41.9	70,709,240	33.6	(17,946,256) 51,850,969	73.3
豫 備 費	2,206,345	0.8	2,182,876	1	23,469	1.1

## IV. 專門委員 檢討 報告 要旨

(報告者：豫算決算特別委員會 專門委員 朴 龍 鎮)

## 1. 歳 入

- '92 第1回 追加更正(修正豫算案 包含)豫算案의 歳入規模는 當初本豫算 2,105億 5,420萬 4千원보다 39%(821億 7,317萬 7千원)가 増加한 2,927億 2,738萬 1千원임.
- 依存 收入 2,274億 7,476萬 1千원에 대하여는 教育部로부터 追加 交付된 交付金 및 讓與金 562億 6,641萬 8千원과 國庫

補助金 10億 4,360萬 8千 원 등 合計 575億 302萬 6千 원이 追加 計上되었으며

- 自體收入으로는 當初 本 豫算보다 29.3%增加한 524億 6,462萬 원으로써 이는 大田科學高 敷地 賣却, 文化洞 雜種財産 賣却, 大田中 官舍 敷地 賣却, 西高通 道路 擴張 編入土地補償金 等 財産 賣却대 收入 101萬 5,794萬 8千 원과 入學金 및 授業料 收入 1億 1,134萬 2千 원, 前年度 純歲計 剩餘金 15億 7,338萬 1千 원 등 合計 118億 8,215萬 1千 원이 追加計上된 것임.
- 大田中學校 官舍 敷地賣却 代金 2億 8,800萬 원의 歲入 計上에 대하여는 地方財政法 第77條 및 同法 施行令 第84條, 地方教育 自治에 관한 法律 第13條 등의 規定에 의거 公有財産管理計劃에 의한 教育委員會의 議決을 得한 후 豫算에 計上하여야 함에도 同 節次를 履行치 않은 事項으로써 再 檢討되어야 할 事項임.

※ 事後措置 : 1992. 6. 18. 教育委員會 公有財産管理計劃承認

- 其他 地方 教育債 發行에 따른 歲入으로 127億 8,800萬 원이 第1回 追加更正豫算案 接受후 修正豫算案으로 提出되었는 바 本 地方教育債 127億 8,800萬 원은 年利 10%로 93년까지 償還 해야 될 財源으로써 용전국교외 3個학교의 新設에 따른 不足 財源을 補充하기 위하여 地方自治法 第115條 및 同法 施行令 第45條의 規定에 依據 '92年 6月 2日 教育部長官의 承認 (교 재 25440~120)과 '92. 6. 11. 大田直轄市 教育委員會의 議決을 得한 事項이 되겠음.



## 2. 歳 出

- '92年度 教育費 特別會計 第1回 追加更正豫算(修正豫算案包含)案의 歳出規模는 當初 本 豫算보다 39% (821億 7,317萬 7千 원)가 増加한 2,927億 2,738萬 1千 원임.
- 増加 計上된 歳出 豫算은
  - 基本的 經費 56億 2,147萬 2千 원
  - 事業費(投資費) 722億 19萬 5千 원
  - 學校運營費 19億 7,212萬 9千 원
  - 科學支援金 23億 5,591萬 2千 원
  - 豫備費等 其他經費 2,346萬 9千 원으로 編成되어 있음.
- 教育費 特別會計 決算 檢査는 地方 自治法 第 35條와 地方 教育自治에 관한 法律 第13條의 規定에 따른 지방議會의 議決事項에 該當하므로 本 教育費特別會計 決算檢査에 대하여는 大田 直轄市 決算 檢査 委員 選任 및 運營에 관한 條例 第3條의 規定에 따라 마땅히 地方議會의 承認을 득하여야 할 사항인 바, 決算檢査委員 수당의 教育費 特別會計의 自體 計上은 그 法律的 根據가 없다고 할 것이며, 따라서 法律的 根據가 없는 豫算의 計上은 불가함으로 地方 自治 法律의 根本趣旨를 逆行하는 問題를 誘發할것으로 判斷되므로 豫算 檢査 委員 수당은 마땅히 削減措置함이 妥當할 것으로 思料됨.
- 其他 豫備費 等에 當初 本 豫算보다 2,346萬 9千 원이 增額된 22 億 635萬 1千 원을 計上하였는 바, 이는 總 歳出規模 2,927億 2,738萬 1千 원의 0.78%에 該當하는 것으로써 災害對策등 豫想치 못한 事態 發生등에 對處키 위한 必須 經費로 思料됨.

## V. 質疑 및 答辯 要旨 : 省 略

## VI. 討 論 要 旨 : 省 略

## VII. 審 查 結 果

1. 歲入豫算案 : 原案대로 可決
2. 歲出豫算案 : 別添 '92 第1回 追加更正豫算 修正(案)과 같음

## VIII. 修正案 要旨

1. 提案日字 및 提案者 : 1992. 6. 23 '92 第1回 追更豫算案  
豫算 決算 特別委員會
2. 修 正 理 由 : 歲出豫算의 科目別 豫算額 計數 調整
3. 修正 主要 骨子 : “別添” 1992年度 第1回 追更豫算案 修正(案)  
과 같음.
4. 修 正 案 : 別 添

## IX. 少數 意見 要旨 : 없 음

1992年度 第1回 追加 更正 教育費 特別會計

# 豫 算 案 修 正 (案)

1992年度 第1回 追加更正 豫算案の 修正案 本文

項 目		追 更 豫 算	修 正 案		修 正 案
			増 額	減 額	
合 計		82,173,177	6,000	6,000	82,173,177
121	小 計	527,533		6,000	521,533
教育行政費	(1212-221) ○ 勝訴事例 金	1,000		1,000	0
	(1216-104) ○ 教特會計 検査委員 手當	5,000		5,000	0
311	小 計	23,469	6,000		29,469
豫 備 費	○ 豫備費	23,469	6,000		29,469